

医福懇第12回学習懇談会

# おとなの発達症

—その「困難さ」と「強み」について—

講師 **今村明** 先生

長崎大学病院地域連携児童思春期  
精神医学診療副部長



講師の今村明先生

医療と福祉を考える長崎懇談会(略称:医福懇)では長崎大学病院の今村明先生をお招きして、おとなの発達症(発達障害)についての学習懇談会を2018年6月16日に開催しました。当日は県内各地から医療・教育関係者や当事者、その家族など250人が参加しました。

# 医療と福祉

## はじめに

著名人のなかには発達症を持ちながら活躍している人もいます。誰もが持っている生まれつきの傾向によって、時に自分や周囲の人が困った状態になる、その時に診断がつくのです。発達症の傾向が強くても社会とバランスを取りうまくやっている人も多いのだとまず理解して頂きたいです。

## 発達症の「困難さ」について

「自閉スペクトラム症」(ASD)は、自閉症、アスペルガー症候群などとも言われています。二大特徴は、社会性コ

◆発行◆  
医療と福祉を考える  
長崎懇談会  
◆連絡先◆  
長崎市恵美須町2-3  
長崎県保険医協会  
TEL095-825-3829  
FAX095-825-3893

## 主な記事

- 第12回学習懇談会報告・・・1～4面
- 定期総会記念講演のお知らせ 4面
- 「奇稿」誰でも旅を楽しめるように  
ながさき福祉事業協同組合・・・5面
- リレー投稿「『ほっとする居場所』に  
介護施設を巡る移動コーヒー店」6面

コミュニケーションの問題と、こだわりの強さと切り替えの問題です。

社会性コミュニケーションの問題は、共感性・客観性がない、会話のキャッチボールがうまくいかないなどがあり、場の空気を読むのが苦手です。仲間づくりが困難で、「孤立型」(時に拒絶)、「積極奇異型」(自分の意見の主張が強い、攻撃的なタイプ)、「受身型」(主張が出来ないので段々と苦しい立場になる)の3タイプがあります。

また、こだわりが強く、切り替えが苦手です。同じ動きや会話の繰り返し、変化に弱い、自分のルールにこだわ

る。感覚の異質性(感覚過敏)を持っている人は、特定の音に焦点が合うとそこにしか注意が向かないこともあります。子どものASDの問題点には、はじめ問題や親・先生とのトラブルがあります。本人は自分の視点で説明しているのに、相手から「言い訳するな」「うそつくな」などと言われる萎縮してしまふ。前述の3つの型で言うと孤立型は不登校、ひきこもり。積極奇異型は対人トラブルが多くなり、受身型は相手の言いなり、犯罪被害にあうこともありえます。これらはこだわりの強さと柔軟性のなさとともに、体調を整えるなどの自己コントロールの困難さが原因です。



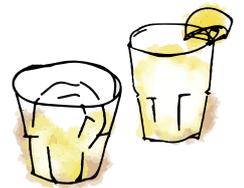


そして大人になり就職すると、いわゆる「ホウレンソウ」がうまくいかない。自分では説明しているつもりでも、相手と視点がずれているのでトラブルが起きます。孤立型だとひきこもり、受身型だと気付いたらブラック企業で働いていたということになりかねません。臨機応変に対応できないことが多く、自己コントロールの困難から飲酒問題が出てきます。またASDの人は一旦具合が悪いと感じると、その痛み集中してしまい受診しても原因が判らないことが多いのです。

次に「**注意欠如・多動症**」(ADHD)は、不注意と多動性・衝動性を主症状とする発達症のひとつです。

ADHDには2つの軸があります。まず計算ミスや忘れ物が多い不注意、意欲が低下、時間や空間の管理が苦手な実行機能も含めたタイプの人。一方で多動性・衝動性症状は、動きすぎる、しゃべりすぎる、あまり考えずに行動してしまいます。ADHDはどちらかに分類できるのではなく、どちらかの要素を有していると考えする必要があります。

子どものADHDの問題点としては集中できない、遅刻や忘れ物が多く、静かに席に座れない、おしゃべり、おせっかい、あわてんぼう。対人関係ではいじめ問題、先生や両親との関係が悪いことも少なくありません。



大人になると無計画な性的関係、結婚と離婚を繰り返す、性病罹患が多

いと言われています。また転職が多く、衝動的な書き込みをしてネット上でトラブルを起こす、クレーマー、虐待といった問題も出てきます。物事に没頭しやすくアルコールや買物などの嗜癖化、暴飲暴食からメタボリック症候群に陥りやすく衝動性から外傷も多い傾向があります。

「**発達症カクテル**」と「**五重塔モデル**」

「**限局性学習症**」

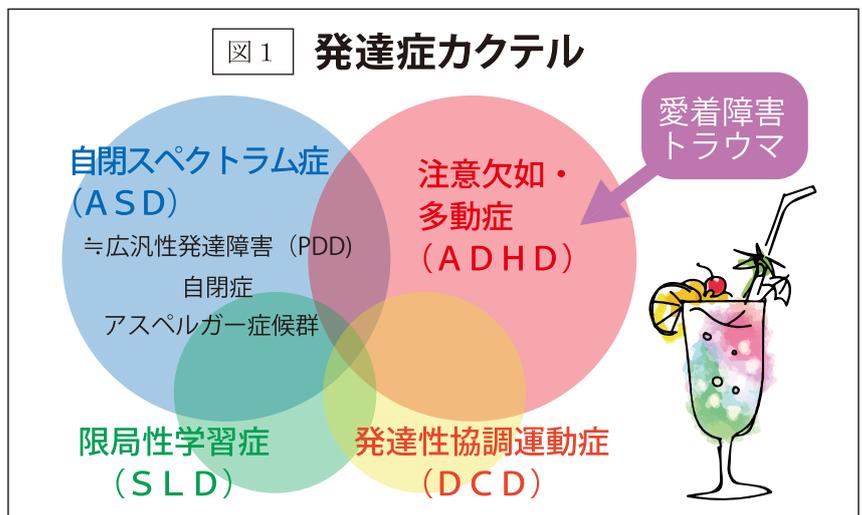
(学習障害)は、読み書き算数が同級生と同じようにならず、自分が持っているポテンシャルより極端に上手くないという時に診断されます。時間をかければできるがそれに至るまでに大変な困難を感じているのに周囲に理解されず、「自分だけができない」という恐怖がトラウマになります。学習

症は単独ではなく他の症状と重なっており、大人になっても困難を抱えている人がいます。

発達の度合いとは少し違いますが愛着障害についても紹介します。愛着とは幼少時に母親と一緒にいて安心という感覚が得られることです。が、この感覚が十分に得られないとすぐに不安になったり、人間関係での信頼関係が作られなかつたりします。対人関係を拒絶する反応性アタッチメント障害は見、ASD的な症状に見えます。逆に脱抑制型対人交流障害タイプは落ち着きがなく、誰にでも寄っていきます。

最近私は「発達症カク

テル」(図1)という考え方をしています。ASDやADHDなどの要素が混ざり合い、そこに愛着障害やトラウマが隠れているという考え方も併存しているという考え方は良くないですが、その患者の特性を理解する



### 図2 こころの発達 五重塔モデル

#### こころの健康の問題

(適応障害、うつ病、不安症、精神病性障害等)

#### パーソナリティ形成の問題 (対人反応パ

ターン：ストレス脆弱性・過敏性・解離傾性等)

#### トラウマの影響の問題

(侵入症状・回避症状・過覚醒症状・認知の歪み)

#### 愛着形成の問題

(安心・安全な感覚の欠如、対人関係の不安定性等)

#### 発達症傾向の問題 (知的能力、社会性、反

復性・限局性、不注意、多動性・衝動性等)



米国コロラド州立大学教授テンブル・グランディン、彼女は恐らく世界一有

名の著書には「違っていることは、劣っていることと同じではない」という有名な記述があります。

状態を好ましい刺激ととらえる（報酬系の障

業家としても活躍する人物です。彼は、ADHD者は狩猟民族の末裔であり、障害ではなく特性であると主張しています。日常的な仕事はすぐに退屈して中断する（不注意・実行機能障害）、獲物を探して絶えずきよろきよろ（注意の転動性）、あちこちをうろろし（多動性）、危険な



もありません。

この条件を活かすと学習も仕事もうまく行く場合があります。ただ、過集中は自己肯定を高める考え方が一方、不安に囚われる、嗜癖症候群に繋がるなどのマイナス面もあります。

また近年、発達症と診断されると受けられる公的

最近の研究では、たくさんできたシナプスを時々植木の剪定のように刈り込みが必要なのに、うまく刈り込みが出来なかった状態が発達症ではないかと分かってきました。

### 発達症の「強み」



ことが大事なのです。また「こころの発達五重塔モデル」（図2）では、発達症傾向の問題が根底にあつて、愛着形成の問題、トラウマの影響が歪んだ時に心の健康の問題が出てくると考えられています。心の健康が悪くなる理由としては不注意傾向の人がミスをして、怒られ否定され、う

つ傾向になりミスも続くという悪循環があります。悪循環に陥らないことが重要です。

名で、はじめて自伝を書いた自閉症者です。彼女は著書で、自身の経験を元に自閉症の強みは視覚的記憶・視覚的思考、パターン認識、細部への強さ、ボトムアップ思考を挙げ、その強みを理解し、才能を発揮できるように導いてあげることが大事だと述べています。

害）。獲物が現れると、目の前の獲物に一直線（衝動性）、時間がとまって感じられ（時間処理機能障害）、周りが見えないくらい狩りに没頭する（過集中）と述べています。



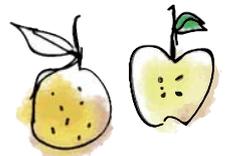
離島を含む県内各地から集まった参加者

### 発達症の強みを活かす



サービスも増え、障害年金、センター試験でも配慮されたり、障害者法定雇用率に発達症者を含められたりするようにもなりました。

多様性を説明する時によく使うのが、左利きも多様性の一つだということですね。



このように発達症はだれもが持っている多様性のひとつで、まずは一人一人を理解することが大事です。また器の大きさが一人一人違うことも理解してください。厳しく接しても器から溢れだして潰れてしまうだけです。その器の大きさを見極めて、小さなチャレンジを積み重ね、自信をつけていきましよう。そしてこの世界の理不尽さを受け入れていくことが大事です。

一方で発達障害は英語で developmental disorder ですが、[disorder] を「障害」と訳するのは不適切だ、発達症者が全て障害者ではないという意見があり、「発達症」と表わすようになってきています。ですから小さい時から「あなたは障害があります」と言わなくてもいいと思います。

ASDの人の独特の発想力は研究者、技術者などに役立つ場合があります。スペシャリストとして成功しやすく、その「まじめさ」が職場で評価される場合が多く、視覚化やパターン認識に強みがあります。ADHDは積極性や活動性の高さ、決断力があり土壇場に強いとも言えます。

いきいきと暮らすために、自分には「困難さ」と「強み」もあることを理解し、「まあ、しょうがない」と、世の中との折り合いをつけることを考えましよう。小さなチャレンジを続けて「きつと、うまくいく」という感覚を身に付けてください。

また、ニューロ・ダイバーシティ（脳の多様性）という考え方も出てきました。「セサミストリート」にもジュリアという自閉症のキャラクターが登場したように、ごく自然にテレビや映画で小さい頃から様々なタイプの人に触れる社会になりつつあります。私

多様性を説明する時によく使うのが、左利きも多様性の一つだということですね。発達症は10人に1人の割合ですが、左利きも同程度です。困ることもありますが、スポーツでは有利になります。発達症も少数派ですが「強み」を活かせる場合があるので。

このように発達症はだれもが持っている多様性のひとつで、まずは一人一人を理解することが大事です。また器の大きさが一人一人違うことも理解してください。厳しく接しても器から溢れだして潰れてしまうだけです。その器の大きさを見極めて、小さなチャレンジを積み重ね、自信をつけていきましよう。そしてこの世界の理不尽さを受け入れていくことが大事です。

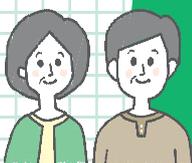


## 第28回定期総会市民公開記念講演

人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスについて考えてみませんか

# アドバンス・ケア・プランニング ご存知ですか？

～自分が望む医療とケアのために～



**講師 中尾 勘一郎 先生**

医療法人ホーム・ホスピス中尾クリニック理事長・院長

**とき** 2018年10月13日(土) 14:30～16:00

**ところ** 長崎大学 文教キャンパス  
環境科学部242番教室

**参加費** 無料

**医療と福祉を考える長崎懇談会第28回総会  
同会場にて14:00～14:20**

当会のご理解のためにも、お気軽にご参加ください

### ● 講師からのメッセージ ●

アドバンス・ケア・プランニングという言葉をご存知ですか？

患者さんと、価値・人生の目標・将来の医療に関する望みを理解し共有し合うプロセスと言われていいます。話し合うことで、患者さんの意思が反映された、医療・ケアの選択ができることを、目的としています。今回、実際の臨床現場での経験をお話ししてみたいと思います。

《寄稿》

誰でも旅を楽しめるように

ユニバーサルツーリズムで  
長崎の魅力を伝えたい

ながさき福祉事業協同組合 理事長 里見 浩則



私たちは、地域福祉の担い手である医療・介護事業者とその関連事業者で構成する事業協同組合です。事業者（組合員）が相互協力し、自らの事業の発展と地域の高齢者や障がい者が心豊かに安心して暮らせる街づくりを目指し、平成28年6月に設立しました。

月例会や交流会・研修会、経営支援、新サービス開発など、小規模事業者でありながら、経験と知識を共有でき活かす活動は、組合員と組合の大きく貴重な財産となっています。

その中でも、昨年度から取り組んだ「ながさき！介護付き旅行サービス」は、要介護者や障がい者の方々が、『行きたくても行けなかった！』



▶長崎くんちで「もってこい！」



▶長崎ランタンフェスティバルを満喫する利用者



県庁展望台から長崎港を望む

旅行を医療・介護の専門家（看護師や介護福祉士など）がサポートし旅行を楽しんでもらえる旅行（ユニバーサルツーリズム）で組合事業の大きな柱となっています。

思い出の地に！お世話になった方に会いたい！故郷に帰ってみたい！家族と一緒に旅行に行きたい！など、様々な思いを実現させてあげたい。また、自然や世界遺産をはじめとする素晴らしい観光地長崎を是非、多くの方々に来てほしいと思っています。

今年3月に利用された大阪在住の男性（83歳、



「長崎創生プロジェクト事業」認定式  
田上長崎市長とともに記念撮影

感動でした。これまででの取組が評価され、長崎市から「長崎創生プロジェクト事業」として認定をいただきました。

要介護2）は、若い頃にお世話になった師匠（飾り職人）の故郷にもう一度行ってみたいかと2泊3日で長崎市内のホテルに宿泊。長崎観光を大変喜ばれ空路大阪に帰られました。喜びを提供できた私たちも感動でした。これまでの取組が評価され、長崎市から「長崎創生プロジェクト事業」として認定をいただきました。また、行き先に関係なく、その方の思いを実現させるべく今後も組合員と力を合わせて取り組んでまいります。



詳細は組合HPをご覧ください  
  
<http://nagasaki-union.com>  
電話 095-842-0052

リレー投稿

# 『ほっとする居場所に』 介護施設を巡る移動コーヒー店

出張コーヒー屋 ibuki珈琲 小西 竜平



移動コーヒー店と小西氏



コーヒー以外の飲み物もご用意しています。

私は、20歳から17年間、介護職として在宅介護や施設介護に従事して来ました。2017年10月よりコーヒーの移動販売を始め、介護施設を巡るコーヒー店として活動しています。

転機のきっかけは、施設を訪問していたパンの移動販売を楽しみにしてきた入居者の姿でした。好きな商品を自分で選んで購入し、何げない会話

に私自身が笑顔になり元気を貰ったように、私も好きなコーヒーで介護する人もされる人も笑顔にしたい。「介護の現場を笑顔にしたい。」との思いを持ってデイサービスや特別養護老人ホーム等で出店しています。介護従事者としての経験を活かして、例えば嚥下状態が悪化した方でもゼリーに加工することで挽きたてで淹れたてのコーヒーを楽しんで頂いています。「また来てよ〜楽しみに待つとるけんね〜！」との言葉や笑顔がやり甲斐を感じる瞬間です。まだまだ試行錯誤では

## 出張コーヒー屋 ibuki珈琲

問い合わせ先

出張コーヒー屋 ibuki珈琲  
代表 小西 竜平  
電話 090-3323-8982

出店先随時募集中!



## MENU

- ・コーヒー ¥300
- ・アイスコーヒー ¥350
- ・カフェオレ ¥350
- ・抹茶ミルク ¥350
- ・抹茶レモン ¥350
- ・レモンソーダ ¥350
- ・飲むコーヒーゼリー ¥420
- ・ミックスベリーのスムージー ¥450

クッキー、パウンドケーキ、プリン、チーズタルト等の焼き菓子も販売しております。

ありますが、この活動が高齢者のQOL向上、介護者の憩いに繋がれば幸いに思います。

医療と福祉を考える長崎懇談会に

## あなたも入会しませんか



個人会員の年会費は500円です。  
お気軽にご入会ください。

- 活動内容●
- 1.会報「医療と福祉」の発行（年3回）
- 2.学習懇談会の開催
- 3.『医療と福祉のてびき』発行など

お問い合わせ・申込先

医療と福祉を考える長崎懇談会

〒850-0056 長崎市恵美須町2-3フコク生命ビル2階（長崎県保険医協会内）  
TEL：095-825-3829